

ePass2003 ご使用に際してのご注意事項

USB トークン ePass2003 では「User PIN」、「SO PIN」という 2 つのコードを使用しています。

◎User PIN : 利用者の暗証番号

USB トークンに格納された電子証明書や秘密鍵にアクセスする際に利用されます。

◎SOPIN : セキュリティ管理者の暗証番号

User PIN ロックの解除や USB トークンを初期化する際に利用されます。

<工場出荷時の設定値>

UserPIN の初期値は **12345678** , 最大リトライ回数は 10 回

SOPIN の初期値は **entersafe** , 最大リトライ回数は 10 回

- 利用者が「User PIN」の入力を連続して間違えた場合、最大リトライ回数 **10回**(※1)までに正しい入力をしないと、USB トークンがロックされます。
このロックを解除するには、セキュリティ管理者が管理者用管理ツールの「PIN ブロック解除」機能で「SO PIN」を入力した上で、新しい「User PIN」を設定する必要があります。
- セキュリティ管理者は「SO PIN」入力を **10回**(※1)続けて間違えると、「SO PIN」がロックされて、USB トークン自体が使用できなくなります。
「SO PIN」のロックを解除するには、セキュリティ管理者が管理者用管理ツールの「初期化」機能で USB トークンを初期化して、「SO PIN」と「User PIN」を設定する必要があります。
USB トークンが初期化されると、USB トークン内に保存されたすべてのデータは削除されてしまい、元に戻すことができませんので、ご注意ください。
- 実際にご利用の際は、セキュリティ製品の特性上、工場出荷時の設定値を使用せずに、「SO PIN」と「User PIN」を変更されることを強くお奨めいたします。

※1 : 「SO PIN」「User PIN」の最大リトライ回数は ePass2003 の管理者用管理ツールの「初期化」機能で変更できます。